

## 「岐阜大学グローバルレクチャー」を公開

平成25年7月19日(金)

岐阜大学の魅力を世界に発信するために、研究内容や講義を動画にした「岐阜大学グローバルレクチャー (The Global Lectures of Gifu University 略: GLG)」をウェブサイトで公開しました。英語を使用言語とし、優秀な留学生や学生を獲得すること、さらに国内外の企業や一般市民に大学への関心を高めてもらうことを目的としています。今年度は生命科学・環境科学分野の7名の教員の講義を順次公開します。岐阜大学公式ウェブサイトの日本語版及び英語版で視聴可能です。



日本語版公式ウェブサイト <http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?cd=2524>

英語版公式ウェブサイト <http://www.gifu-u.ac.jp/english/view.rbz?cd=92>

## 平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択されました

岐阜大学は文部科学省の「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に採択されました。この事業は大学が地域を志向した教育・研究・地域貢献を進めることによって、地域コミュニティの中核的存在としての機能を強化することが目的です。事業名は「ぎふ清流の国、地×知の拠点創成：地域にとけこむ大学」。学部や分野の垣根を取り払って新たに「地域協学センター」を設置し、県内自治体とともに次の3つを軸に地域の課題解決に向けて取り組みます。



- 1) 地域にとけこみ活躍する人材(地域志向人材)の育成
- 2) 自治体や地域住民、大学などが地域の課題について対話する「場」の形成
- 3) 地域を志向した学際的な研究領域の形成と展開(「地域志向学」)

## 岐阜大学旧早野邸セミナーハウス開所式を行いました

平成25年4月26日(金)

大垣市昼飯町に岐阜大学旧早野邸セミナーハウスを開所し、学術研究のフィールドワークの活動拠点や歴史的資料の展示、地域サービスの提供・交流の場として活用しています。建物は本学第7代学長早野三郎氏ゆかりの古民家で、ご子息の早野龍五氏(東京大学大学院教授)からご寄附いただいたものです。開所式では森学長が挨拶した後、小川敏大垣市長や早野龍五氏の令夫人の早野由理氏から祝辞をいただきました。



## 社会資本アセットマネジメント技術研究センターが岐阜県と覚書を締結

平成25年5月27日(月)

岐阜大学研究推進・社会連携機構社会資本アセットマネジメント技術研究センターが岐阜県県土整備部と連携協力に関する覚書を締結しました。目的は橋梁などの維持補修に係る高度な技術力を持つ社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)の養成と活用で、安全・安心な地域社会の形成に寄与することが期待されます。今年度から、岐阜大学では履修証明プログラムに基づいたME養成講座を開設しています。





## オープンキャンパス2013

平成25年8月6日(火)～8日(木)

今年も3日間に渡って「オープンキャンパス」を開催。約5,200人の高校生やその保護者が訪れ、盛況のうちに終了しました。各学部では学科(課程)の紹介や模擬講義、体験実習、入試説明などを実施。また、今年は岐阜大学のペットボトル水「のみやすい」を工学部棟玄関前にて配布し、「おいしい」と好評でした。この配布プロモーションは全学共通教育科目「広報・PR論入門」を受講する1年生が企画・運営したものです。学生によるキャンパスツアー、教職員や学生の相談コーナーなどもにぎわいました。多数のご来場、ありがとうございました。



## 第26回岐阜シンポジウムを開催しました

平成25年7月22日(月)

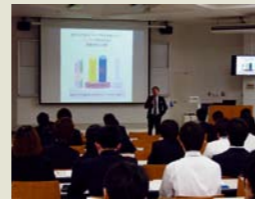
「エネルギー問題を考える スマートグリッドによる次世代エネルギーシステム」をテーマに、「岐阜シンポジウム」を開催しました。初めに東京大学大学院の江崎浩教授が、経験をもとにスマートインフラの実現について話されました。続いてタイ太陽光発電企業組合のDr.Dusit Kruangam会長が、タイにおける太陽光発電の市場の現状を紹介。最後に工学部の小林智尚教授が、気象データから太陽光発電システムの発電量を推定する研究に関して講演し、参加者は知識を深めました。



## 岐阜大学長期インターンシッププログラム(GULIP)の開講式を開催

平成25年8月2日(金)

岐阜大学長期インターンシッププログラム(GULIP)は、企業や公共団体から与えられた課題に、学生がチームを編成して取り組む問題解決型のプログラムです。開講式には学生48名が参加し、岐阜県庁・岐阜大学・企業などの7団体が学生に向けて課題を説明しました。今後、学生は各団体に研修を受けた後、年内に中間報告と最終成果の発表を行い、2月に報告書を提出します。GULIPを経て、学生が専門職業人としての基盤的能力を習得することが期待されます。



## 岐阜大学フェア in 飛騨高山2013を開催しました

平成25年8月22日(木)

高山市民文化会館において4回目となる「岐阜大学フェア in 飛騨高山2013」を開催し、地元の高校生や企業関係者ら約250名が来場しました。このフェアは高山市との包括連携協定の一環として、市と共同主催(高山信用金庫・飛騨信用組合共催)しているもので、岐阜大学の教育、研究、社会貢献活動を知ってもらうことが目的です。会場ではiPS細胞などの最新研究のパネル展示、准教授や助教によるミニセミナー、入試案内の展示などが行われました。



## 教育学部附属中学校合唱部が「第80回NHK全国学校音楽コンクール」に出場

平成25年10月14日(月・祝)

教育学部附属中学校合唱部が「第80回NHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロック大会」で優勝し、全国コンクールに出場しました。会場のNHKホールは生徒たちが今までに体験したことのない広さで、特別な雰囲気に満ちていました。とてもよい緊張感の中で全員が一体となり、一番の歌声を響かせました。結果は優良賞。金・銀・銅賞ではありませんでしたが、全国レベルの歌声を肌で感じ、合唱の深さを実感する機会となりました。



## 第62回東海地区国立大学体育大会で男子の部が総合優勝

平成25年6月1日(土)～8月11日(日)

学生の課外活動の健全たる発展と普及を図り、学生相互の親睦を深めることを目的に、東海地区(岐阜・静岡・愛知・三重)の国立大学間では「東海地区国立大学体育大会」を毎年開催しています。今年も岐阜大学は陸上競技や水泳など20種目全競技にエントリーし、約400名の学生が選手として参加しました。各団体の健闘により、男子の部の水泳・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・剣道・少林寺拳法の6種目において見事に優勝し、さらに総合優勝を勝ち取ることができました。



## 工学部学科改組及び創立70周年記念行事を開催

平成25年5月29日(水)

工学部の始まりは、昭和17年12月、笠松の地に岐阜県立高等工業学校を設立したことによります。移転などの幾多の変遷を経て、昨年12月、創立70周年を迎えました。また、今年4月には10年振りとなる学科改組が行われ、現在は統合移転後30年を経た建物の大規模改修工事も進行しています。記念式典には来賓やOB、岐阜大学関係者など約100名が出席。式典後は大規模改修工事が完了した場所の見学会や記念祝賀会が開かれ、終始和やかな雰囲気に包まれました。



## 岐阜大学医学部附属病院北診療棟開設式を行いました

平成25年5月23日(木)

6月1日(土)から運用を開始した医学部附属病院北診療棟の開設式を行いました。患者数の増加が著しい光学医療診療部と化学療法室を拡充・移設し、さらに、医師育成推進センターを新設して卒前教育と卒後研修の一貫性を図ることで、優れた医療人の育成を目指します。岩間亨病院長は「最先端の治療と快適なサービスを提供したい」と挨拶し、森秀樹学長は「関連病院との連携を強化し、地域医療の発展に期待する」と述べました。



## 第36・37回岐阜大学フォーラムを開催しました

平成25年5月31日(金)・7月4日(木)

一流の研究者や企業人を招いて開催する「岐阜大学フォーラム」。第36回では静岡大学名誉教授で文学博士の小和田哲男氏が、岐阜城を拠点に「天下布武」に乗り出した信長と、日本史の中の岐阜の位置づけについて話されました。第37回では株式会社パロー代表取締役社長の田代正美氏が、会社が成長する過程でアメリカのスーパーマーケットを研究したこと、経営では常に仮説を立ててきたことなどを語られました。



## 創立64周年記念 岐阜大学創立記念日行事を開催しました

平成25年5月31日(金)

創立64周年を祝して、講堂で記念日行事を開催し、学生や教職員ら約250名が出席しました。森学長は「岐阜大学の現状と方針」と題して、サテライトキャンパスや医学部附属病院北診療棟の新設について、研究部門の活動などについて説明。今後の取り組みとして、工学部の第2期施設改修などを挙げ、良好な教育研究環境の構築を目指すことを述べました。また、学生表彰やコーラスクラブの合唱も行われました。

